

就労支援労働力を活用して 事業拡大と住みよいまちづくりを目指す

課題

限られた人材と市場の縮小で 販路の拡大に懸念

株式会社利宏商事（従業員4名ほか）は、中古自動車販売を目的に2014年に創業した。経営者はディーラーでの営業経験があり、中古自動車についての確実な判断力がある。さらに、良質な車両を低価格で仕入れることができるため、順調に業績を伸ばしてきた。

しかし近年、自動車販売業界は流通形態の変化などによる競争の激化に加え、若者の車離れ、性能の向上などによる買い替えサイクルの長期化など、販売台数の停滞が続いている。さらに、同社がある岩手県滝沢市は、盛岡市のベッドタウンとして人口が増えた地域だが、一定の時期から増加率が落ち着き、若者人口の伸び悩みという課題も抱えている。若い世代を固定客として取り込むためには、新たな地域市場の開拓が必要だった。

また同社は、創業の翌年に就労継続支援B型事業所を「福祉部門」としてスタートさせたが、一過性のボランティアで終わらせないために、本業にどうリンクさせていくかも課題となっていた。

支援

就労支援労働力を活用した ストックビジネスで事業拡大

創業時から同社の伴走支援を行っている滝沢市商工会は、経営者から相談を受け、「就労支援事業を労働力とした出張洗車・車内クリーニング」ビジネスを、同社のオリジナルプランとして打ち出すことを提案した。

本来、出張型洗車サービスは、専門の人員やコストがかかることから採算面で導入が困難だ。しかし、商工会では、就労継続支援助成金でコストがカバーできるとアドバイス。「出張洗車サービス」という企業の独自性を強みに、経営革新計画の作成を支援し、持続化補助金の採択につなげた。補助金の活用で高性能洗浄クリーナーを購入した翌年には、再度の持続化補助金で、クリーナーの拡充とコンプレッサー、マット洗浄機も購入。出張洗車サービス部門を拡充させている。就労支援作業で質の高いサービスを低料金で提供できることから、当初ターゲットに想定していた介護系事業所以外に車のディーラーなどからも洗車サービス依頼の受注が増えた同社。洗車効果で状態のいい中古車販売ができるので、同業他



持続化補助金で出張洗車サービスの機器を導入

社との差異化が図れている。そのうえ、「障がい者に優しい」という企業のイメージアップにもつながった。

2019年には、大手企業の進出で千人規模の若者人口が流入する県内中央部に、中古車販売の新店舗を設立。3度目の持続化補助金を活用して設備の導入も行い、20代顧客層の取り込みを狙う。

店舗数が増えたことで在庫車も増えたので、洗車のクリーニングスタッフも強化を考えているという。今後は利用者と雇用契約を結ぶ就労継続支援A型事業所の新設も目指していく予定だ。

支援の経過

期間	支援内容
2017年11月	経営革新計画の策定支援
2018年7月～12月	本会WEBサイトでの情報発信
10月～12月	持続化補助金の申請支援
2019年5月	経営革新計画の進捗状況の検証
7月	新市場での事業計画の策定

会社概要

会社名：株式会社利宏商事
住所：岩手県滝沢市鶴岡上高柳64
電話番号：019-613-4589
代表者名：利府宏弥
創業年：2015年
従業員数：4名
商工会名・担当者名：滝沢市商工会・民部田健一